Career Support Division

16 キャリア支援室

キャリア支援室は、職業・就業知識を身に付け、実地経験を積み重ねる機会を提供することで学生一人ひとりの人生設計をサポートします。女子学生が多い米子高専では、女性のための身だしなみ講座を実施するなど、女子学生のための支援も積極的に行っています。本校のキャリア支援は、地元企業（米子高専振興協力会）などと協力して行う授業の地域学（企業見学）のように、地域とともに取り組む活動を行っている点に特徴があります。

米子高専ならではの一貫性のあるキャリア支援

本校のキャリア支援は、1年生のキャリア講演会、2年生の地域学による地元企業見学、3年生での工場見学旅行による県外企業見学、4年生以上でのインターンシップや進路研究セミナーの開催など、学年進行に応じて自分の生き方を設計する力を身に付けるための体制がとられています。

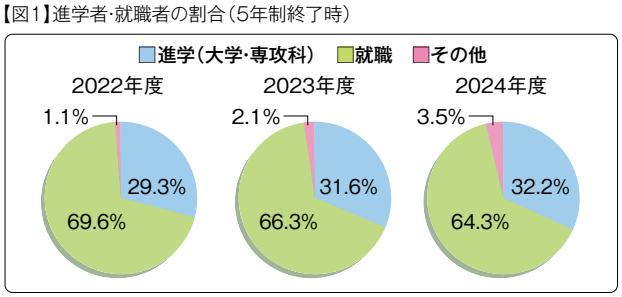
専攻科2年	進路指導	資格取得支援
専攻科1年	インターンシップ（10日間）米子高専生のための進路研究セミナー 共同研究等（特別研究指導）	
本科5年	進路指導、共同研究等（卒研）、キャリア講演会など	
本科4年	校外実習（インターンシップ5日間） 米子高専生のための進路研究セミナーなど	
本科3年	工場見学旅行（県外）	
本科2年	校外研修旅行（地域学:山陰の企業見学）	
本科1年	地元企業見学など	

国立大学などへの多くの選択肢とずば抜けて高い求人倍率

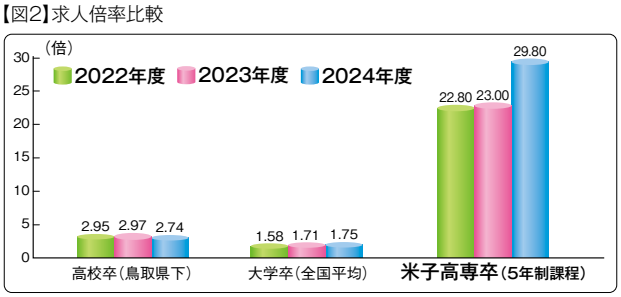
卒業生の3〜4割が、国公立大学や米子高専専攻科へ進学しています。各国公立大学には高専生入学枠が設けられているため、編入学試験日程が重複しなければ複数の大学を受験することができます。また、米子高専専攻科に進学し、2年間の課程を修了しても大学と同じ学士（工学）の学位が得られ、国公立大学の大学院へ進学することができます。

高専卒業生は、産業界からの評価が高く、景気動向にかかわらず企業から非常に多くの求人があります。

【図1】進学者·就職者の割合（5年制終了時）



【図2】求人倍率比較

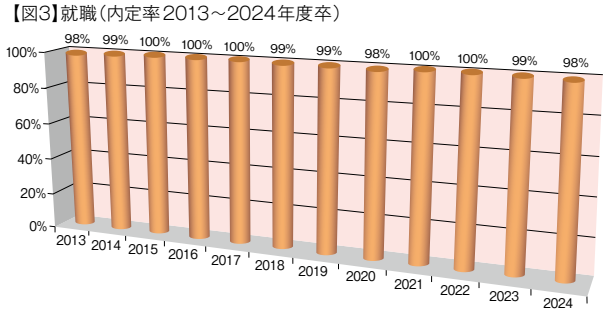


ほぼ100%の進路決定率

景気動向などによらず、就職と進学ともに、ほぼ100%の進路決定率を維持しています。これまでの先輩方の実績により、多くの企業に『学校推薦制度』での採用試験に臨むことができ、就職活動に多くの時間を費やすことなく学業に専念できます。

米子高専のキャリア支援は、自分が進むべき適性を判断するキャリア（職業・就業知識、実地経験）を身に付け、社会で活躍するための人生設計を支援しています。

【図3】就職（内定率2013〜2024年度卒）



2年生「地域学」での企業見学

「進路研究セミナー」の様子

Student Counseling Center

20 学生相談室

本校には、学生一人ひとりがよりよい高専生活を送れるようにサポートする学生相談室があります。学校生活や友人関係、勉強や進級の問題、就職・進学など将来について、また、ストレスからくる不眠・体調不良の悩みなど、各種の相談に応じています。インテーカーが窓口となり、勉強関係・進路など学修面は教員の相談員、からだの健康面は看護師、不安や悩みなどこころの健康面は専門のカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等へつないでいます。

学生相談室